

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ロブテックス
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	4,046	△4.8	300	△21.8	264	△22.3	166	△19.2
28年3月期第3四半期	4,250	8.2	384	11.1	339	15.0	205	17.0

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 219百万円 (△15.0%) 28年3月期第3四半期 258百万円 (14.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	17.70	—
28年3月期第3四半期	21.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
29年3月期第3四半期	6,945		3,534		48.5	
28年3月期	7,066		3,372		45.4	

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 3,371百万円 28年3月期 3,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,160	4.2	500	△2.8	430	△4.4	260	△5.7	27.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	10,000,000 株	28年3月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	620,073 株	28年3月期	619,401 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	9,380,184 株	28年3月期3Q	9,407,566 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済施策等により緩やかな回復基調にありますものの、新興国経済の減速に加えて、英国の欧州連合離脱決定や米国の新政権移行による影響も懸念され、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは2016年度の経営スローガンを前々年度、前年度に引き続き「昨日と違う今日を創るため 常識の壁を破り 感性で行動します」とし、時代や環境の変化に応じた大胆な発想力と行動力を追求し、真の実力を持った企業グループとなるべく継続して努力してまいりました。また、前年度に実施した社長室への商品戦略企画担当の配置や商品企画部の設置に続き、社長室に設置されている営業戦略企画担当が立案する営業戦略の実行にあたり、その戦術としての具体的企画や提案を行う「営業企画部」を新設し、組織的な営業活動の強化を進めてまいりました。

しかしながら、売上高は前年同期比4.8%減の40億4千6百万円（前年同期42億5千万円）となり、利益面においては、商品の採算性向上の伸展と経費管理の徹底により、計画通りには推移しておりますが、前年同期比では、減収影響に加え、人件費増や在庫評価に関する損失の発生もあって、営業利益で21.8%減の3億円（同3億8千4百万円）、経常利益で22.3%減の2億6千4百万円（同3億3千9百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益で19.2%減の1億6千6百万円（同2億5百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ減少しました。拡販努力により切削工具や電設工具については売上増となりましたものの、レンチ類やファスニングツールについては流通在庫増加の影響、工業用ファスナーについては工事物件遅延の影響により減少し、また、前年同期において売上の伸長した新企画の工具セットについてもその一巡により減少しました。

海外売上についても前年同期に比べ減少しており、ハンドツール部門においては韓国向けの電設工具が景況悪化の影響により減少し、ファスニング部門では、大洋州向けにエアリーベッターが増加しましたが、米州向けには流通在庫増加影響を受け減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比4.9%減の38億7千8百万円（前年同期40億7千8百万円）となりました。利益面では営業利益が減収影響に加え、人件費増や在庫評価に関する損失の発生もあって、前年同期比25.6%減の2億2千6百万円（同3億4百万円）となりました。

②レジャーその他事業

売上高は、ゴルフ練習場の入場者数において、計画的な設備保全による休業影響を集客施策により吸収し、堅調であった前年並みを維持しましたものの、お客様一人当たり売上高の低下傾向が継続し、前年同期比2.1%減の1億6千8百万円（前年同期1億7千2百万円）となり、営業利益は減収影響に設備保全費用の発生も加わり、同7.6%減の7千3百万円（同8千万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は69億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千1百万円減少しました。

(資産)

流動資産は前連結会計年度末比8千7百万円減の43億6千5百万円となりました。これは主にたな卸資産が増加する一方で、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は同3千4百万円減の25億7千9百万円となりました。これは主に投資有価証券や退職給付に係る資産の増加がありましたが、減価償却による有形固定資産の減少があったことによるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比1千9百万円増の24億8千5百万円となりました。これは主に未払法人税等や未払消費税等の減少がありましたものの、短期借入金や未払金が増加したことによるものです。

固定負債は同3億3百万円減の9億2千4百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末比1億6千2百万円増の35億3千4百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、平成28年5月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,697,142	1,441,544
受取手形及び売掛金	1,321,705	1,053,112
商品及び製品	886,233	1,216,469
仕掛品	211,260	251,477
原材料及び貯蔵品	171,245	199,354
その他	170,237	208,852
貸倒引当金	△5,548	△5,555
流動資産合計	4,452,277	4,365,255
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	768,075	743,762
土地	738,508	738,508
その他(純額)	564,767	525,167
有形固定資産合計	2,071,351	2,007,438
無形固定資産	36,110	38,956
投資その他の資産	507,106	533,484
固定資産合計	2,614,568	2,579,879
資産合計	7,066,845	6,945,135
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,572	232,618
短期借入金	1,696,702	1,837,874
未払法人税等	92,652	8,708
その他	439,131	406,466
流動負債合計	2,466,057	2,485,667
固定負債		
長期借入金	968,527	658,726
役員退職慰労引当金	3,120	—
退職給付に係る負債	48,078	51,974
その他	208,779	214,113
固定負債合計	1,228,504	924,813
負債合計	3,694,562	3,410,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	1,784,924	1,904,039
自己株式	△154,683	△154,819
株主資本合計	3,081,287	3,200,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130,320	171,535
その他の包括利益累計額合計	130,320	171,535
非支配株主持分	160,676	162,852
純資産合計	3,372,283	3,534,653
負債純資産合計	7,066,845	6,945,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	4,250,628	4,046,589
売上原価	2,778,305	2,596,484
売上総利益	1,472,323	1,450,105
販売費及び一般管理費	1,087,566	1,149,322
営業利益	384,756	300,783
営業外収益		
受取利息	148	59
受取配当金	9,252	11,202
受取家賃	6,461	6,442
その他	5,048	5,822
営業外収益合計	20,911	23,527
営業外費用		
支払利息	28,909	25,760
売上割引	33,652	33,186
その他	3,324	1,259
営業外費用合計	65,886	60,205
経常利益	339,781	264,104
特別損失		
固定資産除却損	466	741
特別損失合計	466	741
税金等調整前四半期純利益	339,314	263,362
法人税等	118,401	86,241
四半期純利益	220,912	177,120
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,354	11,102
親会社株主に帰属する四半期純利益	205,557	166,017

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	220,912	177,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,660	42,788
その他の包括利益合計	37,660	42,788
四半期包括利益	258,573	219,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,601	207,233
非支配株主に係る四半期包括利益	16,972	12,675

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	4,078,400	172,228	4,250,628	—	4,250,628	4,250,628
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,078,400	172,228	4,250,628	—	4,250,628	4,250,628
セグメント利益	304,748	80,008	384,756	—	384,756	384,756

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,878,031	168,557	4,046,589	—	4,046,589	4,046,589
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,878,031	168,557	4,046,589	—	4,046,589	4,046,589
セグメント利益	226,881	73,901	300,783	—	300,783	300,783

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。